

平成 30 年度「障害福祉分野の人材確保・定着支援」に係る取組みについて

1 事業の内容

・障害福祉サービス利用者や障害者手帳所持者数の増加が進む一方、支援を行う障害福祉サービス事業所では、若手職員の確保や定着が深刻な課題となっている。平成 30 年度に策定した仙台市障害者保健福祉計画において、「地域に必要な機能のための基盤整備」として障害福祉分野で働く人材の確保と定着の支援を重点分野と定め、施策を推進している。

・平成 30 年度は、平成 30 年 6 月 7 日の第 1 回協議会において、計画等の取組状況に係る調査として、「障害者保健福祉計画の重点分野の 1 つである障害福祉分野で働く人材確保・定着の支援を進めるにあたり、事業所等のニーズ等の把握を行い、支援の手法を検討する。」とされ、その後の事務局による検討を経て、下記の取組みを実施した。

2 障害福祉人材確保・定着支援に関する主な取組み

(1) ワークショップ「ココロン☆ワーク スペシャル」の開催

日時	内容等	参加者
9 月 13 日 (木)	ココロン☆ワーク スペシャル開催に向けた意見交換会 開催に向けた事業設計のため、事業所若手職員と学生で意見交換を実施	9 名
10 月 24 日 (水)	ココロン☆ワーク スペシャル 学生と障害福祉事業所の若手職員が交流し、日々の仕事のやりがいや、就職にあたり気になる事などについて意見交換を行うワークショップ。 (障害者施策推進協議会委員も参加。)	44 名

(2) 障害福祉分野の人材確保に向けた研修会

日時・場所	内容	来場者
2 月 13 日 (水) 福祉プラザ 1 階 プラザホール	障害福祉事業所を対象とした、人材確保を進める上で重要な学生の考えや就活事情を知るための研修 詳細は別紙のとおり	36 名

3 今後の取組み

「ココロン☆ワーク スペシャル」開催後のアンケートやヒアリングの結果、参加した事業所職員・学生の評判も良く、委員からも今後も継続すべきという意見が多かった。なお、意見交換会等においては、学生側の障害児福祉分野への関心が高いことが明らかになった。

また、人材確保に向けた事業所向けの研修会は、大学・学生側の考え方を把握できたという意見があがるなど、参加者の 94%が参加して良かったという感想であった。

人材確保・定着支援に関する取組みは、継続して実施することで本質的な効果が上がるものと考えられることから、事業内容や手法等を検討し、引き続き実施する。